

令和 4 年 9 月 13 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16H01897

研究課題名（和文）「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築

研究課題名（英文）Construction of an Information Infrastructure to Support Sharing and Utilization of "Knowledge of Areas"

研究代表者

原 正一郎（Hara, Shoichiro）

京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授

研究者番号：50218616

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 35,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では3課題6テーマを設定した。課題1『地域の知ビッグデータ共有基盤の構築研究』では、(1)既存地域研究データのLinked Open Data化、(2)Webデータのクローリング、(3)データの高度連携を指向した地名辞書の構築とオントロジー化、(4)地域研究データの共有を目指した国際共同研究の推進とデータベースの試作を行った。課題2『情報分析手法と支援ツールの開発』では、(5)自然言語処理や機械学習技術を応用しWebビッグデータを対象に、主題抽出、緯度・経度推定から可視化までを自動化した。課題3『地域をデザインする地域研究の推進』では、(6)課題2の成果のラテンアメリカ研究への適用を試みた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

Linked Open Dataの利用により所蔵データと海外データの連係を試みて新しい人文学データ共有基盤の可能性を示すことができた。多様な人文データを結合する基盤知識として地名データ（緯度・経度の辞書）を整備・構築して人間文化研究機構より公開した。データ共有基盤の地域研究への応用として人文学研究資源の所在目録をアジアの主要大学の図書館・図書館等との国際協働研究により構築した。Web新聞データを対象として、自然言語処理による地名同定およびTopic分析による内容分類を組み合わせ、記事を内容別・地域別・時間別に可視化するツールを開発し、大量な地域研究データの新しい利用法への可能性を示した。

研究成果の概要（英文）：In this research, we conducted three Subjects and six themes. In Theme 1, "Construction of Big Data Sharing Infrastructure for Knowledge of Area," we achieved the following results: (1) converting existing data to Linked Open Data, (2) crawling Web data related to area studies, (3) construction of an ontology database of gazetteer for advanced linking of the above-collected data, and (4) promotion of international joint research aiming at sharing overseas area studies data and construction of Open Data. In Theme 2, "Development of Information Analysis Algorithms and Tools, we constructed methods of (5) automatically estimating data topics and longitude and latitude of events by applying natural language processing and machine learning techniques to data collected in Theme 1. In Theme 3: "Promotion of Area Studies for Designing Area," (6) we have tried to apply the results of Theme 2 to Latin American studies.

研究分野：情報学

キーワード：地域間比較研究 地域の知 地域情報学 ビッグデータ オントロジー 機械学習

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

### 1. 研究開始当初の背景

地域研究には、大学・NPO・NGO・企業・行政などの組織が関わっており、多様かつ膨大な「地域の知」を集積している。ここで「地域の知」とは、伝承・習慣・技術などの地域住民の振る舞いを規定する顕在的・暗黙的な知識であり、関連する資料・文献、さらに研究成果である発見・仮説や分析手法なども含むものとする。京都大学の各部局においても、地域研究に関わる資料やデータが多く存在する。その一部はデータベースとして公開されており、直接の関係者以外にとっても地域研究上の貴重な資源となっている。これらの「地域の知」を横断的に利用できれば、地域研究を支援する強力な情報ツールとなる。しかし、データ構造・語彙・言語などが異なるため相互に連結できず、高度な利活用は困難である。データを連結するにはデータの翻訳や変換が不可欠であるが、膨大な手間と時間を要する。また、データベースの多くは、長期的な利活用を見込んだ管理・維持がなされているとは言い難い。例えば担当者が任を離れると、アップデートが滞るだけでなく公開自体が停止してしまうなど、「地域の知」は離散・消滅の危機に瀕している。このような理由から、「地域の知」を安定的に蓄積・連携する情報基盤の整備が急務である。一報、地域研究もパラダイムシフトに迫られている。国境を越えたヒト・モノ・カネの移動が活発になり、一地域の変動は直ちに周辺地域へ影響を及ぼす。広域・即時対応性の高い課題を地域研究で扱うためには、地域が発信する情報を即時に分析し、変化や異常を検出し、動向を予測する計量的手法の導入が必要である。さらに、Web 上には多様かつ膨大な地域研究情報が流通しており、「地域の知」はビッグデータとなりつつある。地域研究者がビッグデータを「読む」「知る」ための情報学手法を駆使した支援ツールも必要となる。しかしながら、このような要求に応える情報学手法や支援ツールは、既存の地域研究の枠組みには備わっていない。

### 2. 研究の目的

本研究では、最初に「地域の知」をシームレスに連携し利活用を促進する情報基盤を構築する。次に、情報基盤に蓄積されるビッグデータを分析・可視化する情報学手法とツールを構築する。これらの成果の上に、ビッグデータを駆使した新しい地域研究の展開を目指す。そのために、Web 上に流通する地域研究情報を対象として、以下の3つ課題と6つのテーマを実施する。

課題1：「地域の知」ビッグデータ共有基盤の構築

- ・ 研究テーマ1（クラウド環境の構築）
- ・ 研究テーマ2（資料デジタル化スキームの確立）
- ・ 研究テーマ3（メタデータの設計）
- ・ 研究テーマ4（「地域の知」ビッグデータ共有基盤の構築）

課題2：情報分析手法と支援ツールの開発

- ・ 研究テーマ5（推論・応用アルゴリズム研究）

課題3：地域をデザインする地域研究の推進

- ・ 研究テーマ6（評価・実装とリテラシ教育）

### 3. 研究の方法

課題1（「地域の知」ビッグデータ共有基盤の構築）セマンティック Web 標準技術を利用してデータベースの柔軟な連結を試みる。

- ・ 研究テーマ1（クラウド環境の構築）：京都大学東南アジア地域研究研究所の情報基盤を RDF に基づくデータベースシステムとして再構築し、Linked Open Data のクラウド環境とする。
- ・ 研究テーマ2（資料デジタル化スキームの確立）：Web 上の新聞記事を対象として、定期的クローリング、不用情報除去を含む整形、データベース登録を自動化する手順を確立する。
- ・ 研究テーマ3（メタデータの設計）：多様なデータを柔軟に連結する手段として、データ中の時空間語彙に注目し、地名と暦日に関するオントロジー辞書を構築する。
- ・ 研究テーマ4（「地域の知」ビッグデータ共有基盤）：国内外の学術情報機関が有する地域研究関連データの連携を目指し、メタデータの設計と実装を国際共同研究として推進する。

課題2（情報分析手法と支援ツールの開発）Web 上のビッグデータを地域研究者が「読む」「知る」作業を支援する情報ツールの実現を目指す。

- ・ 研究テーマ5（推論・応用アルゴリズム研究）：Web 上の日本語新聞記事を対象として、自然言語処理や統計的潜在意味解析法を利用した、記事内容の自動分類や可視化を実現する。

課題3（地域をデザインする地域研究の推進）

- ・ 研究テーマ6（評価・実装とリテラシ研究）：課題1と2の成果を、京都大学16部局による文理協働地域研究「学知創成ユニット」と共有し、計量的な地域研究の可能性を探る。

### 4. 研究成果

(1) 課題1「地域の知」ビッグデータ共有基盤の構築

① 研究テーマ1（クラウド環境の構築）

研究データは研究目的や手法に依存するため、メタデータスキームはバラバラである。また、検索手順やユーザインタフェースも研究目的に応じて設計されるので、汎用性や公開性が低い。

研究の進展によってメタデータやデータベース設計の方針を変更する場合もある。さらに永続性が低いという問題も抱えている。このような考察から、My データベースと称するデータベースシステムの開発を継続している。My データベースにより、多様な研究データを簡単に公開することができるようになった。実際、京都大学東南アジア地域研究研究所において公開されているデータベースの殆どは My データベース上で実装されている。しかし、システム上の制約からオープンデータ化には対応できない。そこで本研究では、My データベースを RDF と SPARQL をベースとした新しいプラットフォームとして再構築した。

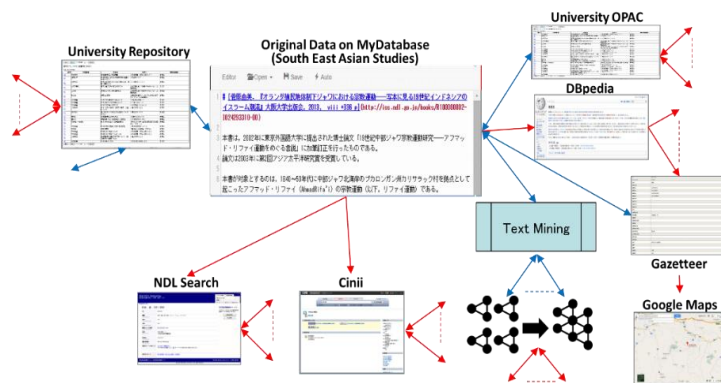


図 1 RDF を利用した Linked Open Data の試行例

その応用例を図 1 に示す。これは京都大学東南アジア地域研究所が発行している季刊学術誌「東南アジア研究」に出現する書誌事項・時空間語彙・専門用語などを、例えば専門用語を DBpedia と連結するなど、外部データベースや Web サービスと連携させた試みである。ところが、My データベースに蓄積されている論文名や地名などの文字データの殆どに URI は付与されていないため、外部データベースや Web サービスと連携させるためには、名寄や語彙の統制や正しいリンク先の選別といった手間と時間のかかる作業が必要であった。そのため、本研究では試行にとどまり実運用には至らなかった。Linked Open Data を実現するためには、語彙の統制、オントロジーの作成、URI の付与など、事前の準備が重要であることを再認識した。ここで得られた問題点は、研究用データベース構築の情報リテラシとして整理する予定である。

## ② 研究テーマ 2 (資料デジタル化スキームの確立)

インターネット上で流通する情報の即時性や量は従来のメディアを凌駕している。従来の地域研究では精選された少数の研究資料を読み込むことが主流であるが、雑多であるものの膨大な情報を含むビッグデータの活用も喫緊の課題となっている。そこで本研究では、Web 上の新聞記事を対象として、地域に関する多様な情報の自動抽出を試みた。開発した手法により必要な記事本体を抽出できるようになったが、ニュースサイトの HTML 構造が変更されるごとテキスト抽出用プログラムの修正が必要であった。また、短縮表現・隠語・暗語の多い SNS などについては対象としなかった。これらは、今後の課題である。

## ③ 研究テーマ 3 (メタデータの設計)

時空間属性はデータの検索や連結に重要である。そのためには、地名を緯度・経度に、旧暦をグレゴリオ暦などに対応させる知識が不可欠である。地名辞書としては Getty Thesaurus of Geographic Names や東京大学空間情報科学研究センターのアドレスマッチングサービスなどがあるものの現代地名が対象である。日本の歴史地名に関しては新版角川日本地名大辞典などがあり、Japan Knowledge で利用できるが、商用のため有料である。研究代表者らは、日本の歴史地名辞書の開発を 2005 年より継続している。歴史地名辞書は、大日本地名辞書、延喜式神名帳、日本寺院総鑑、旧 5 万分の 1 地形図を基礎史料として、377,471 地名を登録している。日本寺院総鑑を除く地名データは、人間文化研究機構 ([https://www.nihu.jp/ja/publication/source\\_map](https://www.nihu.jp/ja/publication/source_map)) よりダウンロードできる。なお、時間情報については、本研究と連携した基盤研究 (A)「セマンティック・クロノロジー：時間軸に沿った知識の可視化と利用に向けた基盤構築」(代表：関野樹)において HuTime (<http://www.hutime.jp/>) として公開されている。



図 2 テキストエディタと歴史地名辞書の連携による Web アプリケーションの事例

本研究では歴史地名辞書の Linked Open Data 化を試みた。この歴史地名辞書の応用可能性を示す例として、テキストエディタと連携させた Web アプリケーションを図 2 に示す。史資料に記載されている事件の発生地点を地図上に可視化するために、地名を歴史地名辞書で検索し、得られた緯度・経度をテキストに埋め込む作業の支援を想定している。

歴史地名辞書のメタデータ構造と語彙は独自であるため、相互運用の観点からは問題を抱えている。そこで、歴史地名辞書・GeoNames・Getty Thesaurus of Geographic Names で使用している語彙

の比較を行い、歴史地名辞書の語彙の整理と RDF によるスキーマの再定義を進めた。

#### ④ 研究テーマ4（「地域の知」ビッグデータ共有基盤の構築）

当初の計画では、東南アジア主要大学の学術情報機関の情報システムとの連携を意図していた。しかし、東南アジア地域における史資料のデジタル化の進捗状況や情報システムのレベルはバラツキが大きく、現時点での相互接続は困難であることが明らかになった。一方、学術情報機関が公開している研究デジタルデータには研究的価値が高にもかかわらず認知度の低いもの、あるいは複数の学術情報機関で同じ史資料に基づくデータベース公開や開発をしていることが明らかになった。そこで、学術情報機関が有する研究デジタルデータの所在目録システムをクラウド環境上に構築することを新たな目標に設定し、研究を継続した。そのために、東南アジアの学術情報機関を対象とした研究ネットワーク（RsDA: Research small Data Alliance in East and Southeast Asia: <http://rsda.mydatabase.jp/index.html>）を組織した [参加組織: Academia Sinica (Taiwan), Chiang Mai University (Thailand), Chulalongkorn University (Thailand), International Research Center for Japanese Studies (Japan), Khon Kaen University (Thailand), National Museum of Japanese History (Japan), National Taiwan Normal University (Taiwan), National University of Singapore (Singapore), Royal University of Phnom Penh (Cambodia), Suranaree University of Technology (Thailand), Universitas Indonesia (Indonesia), Universitas Islam Riau (Indonesia), Universitas Lancang Kuning (Indonesia), Universiti Teknologi MARA (Malaysia), University of Colombo (Sri Lanka), University of the Philippines Diliman (Philippines), University of Tsukuba (Japan), Kyoto University (Japan)]。

参加機関の持ち回りによるワークショップ（Covid-19 のため 2020 年度からはネットワーク会議に変更）を継続的に開催した [1st meeting: 2016-11-20@Pullman Bangkok Grande Sukhumvit (Thailand) as “International Workshop on Academic Asset Preservation and Sharing in Southeast Asia” as a preliminary workshop for iPRES2017 hosted by Kyoto University, 2nd meeting: 2017-09-25@Kyoto University (Japan) as “International Workshop on Academic Asset Preservations and Sharing in Southeast Asia” with iPRES2017 hosted by Kyoto university, 3rd meeting: 2018-08-23 and 24@INTEKMA Resort & Convention Center as “International Workshop on the Academic Asset Preservations and Sharing in Southeast Asia” hosted by Universiti Teknologi Mara, 4th meeting: 2019-0-23 and 24@Pullman Khon Kaen Raja Orchid Hotel (Thailand) as “International Workshop on Academic Asset Preservation and Sharing in Southeast Asia” with “Research Data Management and Libraries: Relationship, Activities, Drivers and Influences” hosted by Khon Kaen University, 以降 ZOOM 会議]。

対象となる研究デジタルデータとはどのようなものか、それをメタデータとして記述するために必要最小限の要素は何か、それらの関係はどのように整理すべきかなどについての検討を重ねて、メタデータモデルを作成した（図3）。このデータモデルに基づいて、データ項目および記述規則を検討し、クラウド環境に実装した。本研究では、メタデータ情報の収集を容易に行うために、研究デジタルデータの入り口であるホームページを利用した。しかし、ホームページには必要な全ての情報が記載されているとは限らない。また、記載内容をメタデータのどの項目に割り当てるべきかの判断や解釈に迷う事例も多かった。今回の試行における課題を整理している途中である。その成果として、研究デジタルデータに関するホームページに記載すべき情報項目や、それを明示するタグなどの提案ができればと考えている。

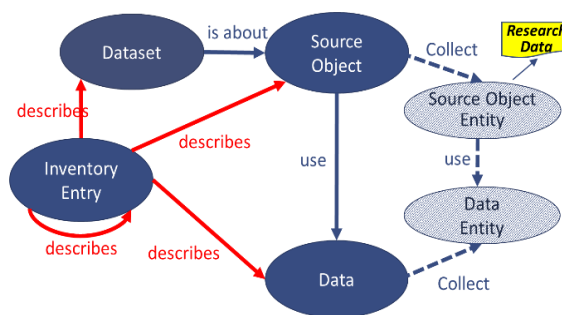


図3 メタデータモデル

## (2) 課題2 情報分析手法と支援ツールの開発

### ① 研究テーマ5（推論・応用アルゴリズム研究）

インターネットの普及に伴い、大量・多様・リアルタイム性の高い地域研究関連データが利用できるようになった。しかし、あまりにも膨大で、地域研究者が一生をかけても読み切れない。そこで本研究テーマでは、Web 上の新聞記事を対象として、データ分析や時空間上（地図等）へ可視化を自動化する手法開発を試みた。

新聞記事中の時空間表現を識別するために、共同研究者の森らが開発した形態素解析器 KyTea (<http://www.phontron.com/kytea/index-ja.html>) を利用した。次にニューラルネットにより、単語を空間表現、絶対的な時間表現、相対的な時間表現、それ以外の単語に分類した。ニューラルネットとして、双方向長期短期記憶ネットワーク（Bi-directional Long Short Term Memory; BiLSTM）と条件付き確率場（Conditional Random Fields; CRF）を組み合わせた BiLSTM-CRF を利用した。時空間表現に分類された単語は、研究テーマ3のオントロジー辞書などを参照し、時間表現は西暦年月日に、空間表現は緯度・経度に変換した。各記事に関する話題を推定するために、Topic Model の1つである Latent Dirichlet Allocation（LDA）を用いた。LDA では、1つの文書に複数の topic が存在すると仮定し、文書全体のトピック分布と記事ごとの topic 分布をモデル化する。

災害関連の topic を対象とした例を示す。利用したデータは 2010 年から 2019 年までの毎日新聞記事であり、Perplexity および各 topic を構成する語彙集合を検討して topic 数を 184 とした。この中から災害に関する想定される3つの topic を選択した（Topic37: 災害、避難、防災、地震、被害等、Topic110: 原発、電力、発電、原子、放射等、Topic124: 震災、被災、地、日本、復興等）。



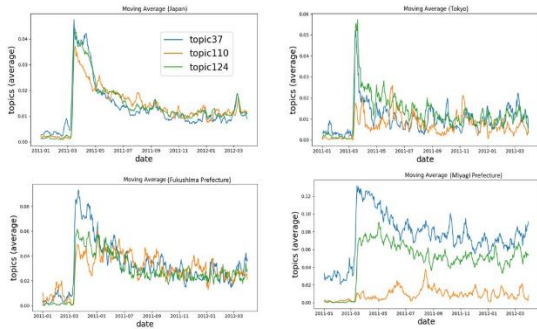


図4 東日本大震災を対象としたトピックの時間変遷

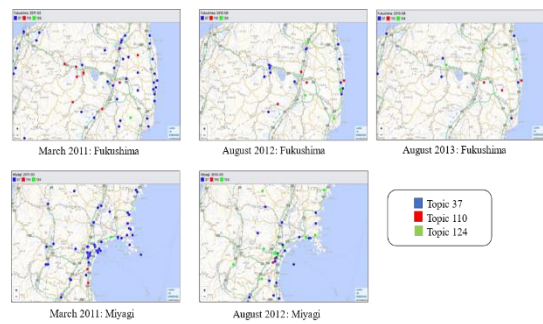


図5 東日本大震災を対象としたトピックの空間分布の変遷例

各 topic の 2011 年における出現比率の時系列変化を図 4 に示す。3 月に大きく変動しているのは、東日本大震災に関わる記事が増加したためである。左上は全国、右上は東京、左下は福島県、右下は宮城県における topic の変化である。地域ごとに topic の構成（被害状況の相違を反映しているものと推察する）が異なっていることが分かる。図 5 は各 topic の空間分布の時間変化を示している。上段は福島県、下段は宮城県、左列は震災直後の 2011 年 3 月、中央は同年 8 月、右列は福島における 2012 年 8 月の topic 分布である。地域による topic の空間分布と時間推移の違いが明らかに現れている。詳細な検討は継続中であるが、新聞記事に LDA を適用することで、地域の状況の変化や地域間の相違を計量的に分析・可視化できる目処がついたと評価している。

### (3) 課題3 地域をデザインする地域研究の推進

#### ① 研究テーマ6 (評価・実装とリテラシ教育)

ここでは、「地域の知」ビッグデータ共有基盤に多様な研究データを蓄積し、そこに Web ビッグデータの情報分析手法・支援ツールを組み合わせ、新しい地域研究手法の開発を目指した。

研究データの蓄積は、京都大学 16 部局による文理協働地域研究「学知創成ユニット (<https://www.kurca.kyoto-u.ac.jp/researchunits/1st>)」と連携して実施した。ここで、人文学と理工学におけるデータのあり方の相違が明らかとなった。人文学分野では、写真や地図などのデジタルデータや史資料群の目録が対象であるため、コンテンツ集合の個々のアイテムに対するメタデータが必要である。My データベースも、そのような使い方を前提に構築された。一方、理工学分野では、コンテンツ集合ではなく、大規模ではあるが単体の観測データそのものが対象となることが多い。そのため、理工学データを人文学データと同じ枠組みで My データベースに蓄積することは困難であった。そこで、研究テーマ 4 で開発した所在目録システムを流用したデータ蓄積機能を My データベースに追加した。この機能は簡易型の研究データ管理システムと言えるものである。その意味で、本研究で開発したデータ蓄積機能は、共同利用・共同研究拠点である東南アジア地域研究研究所の新しい情報サービスとしての今後の貢献が期待される。

地域をデザインする地域研究の意図するところは、「地域の知」の計量的な分析であった。現在の地域研究は、データという客観的証拠に基づいて、政策提言の効果や課題などを追試可能な方法で提示しうるものでなければならない。そのためには、エビデンスに基づく計量的地域研究のパラダイムを地域研究に構築する必要がある。数理モデルの利用は、理工学分野などでは当たり前の手法であるが、地域研究を含む人文学分野においては限定的である。ここでも、「学知創成ユニット」と連携し、理工学的テーマとしてアジアのメガシティをケーススタディとしたクリーンエネルギー政策に関する評価、人文学的テーマとして政治汚職のモデルなどを実施した。クリーンエネルギー政策に関する評価などの工学的事例研究では、データとモデルを利用した研究手法とシミュレーションの結果が報告された。これに対して、政治汚職のモデルなどの人文学的事例研究については、いくつかの興味深いアイデアや提案が出されたものの、モデルは定性的な説明にとどまり、実データの適用やシミュレーションには至らなかった(図 6)。

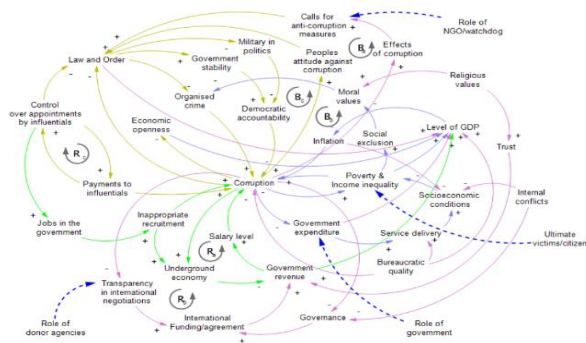


図6 汚職モデルの例

研究テーマ 5 が扱う Web 新聞データに対する topic model 分析を英語とスペイン語に拡張してラテンアメリカ地域研究への適用を試みた。残念ながら、分析を開始した時点で Covid-19 の世界的な流行が発生したため、現地における協力体制を構築する作業が困難になり、本研究期間中の実施は中止せざるを得なくなった。別の研究プロジェクトとして継続する予定である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計64件（うち査読付論文 50件 / うち国際共著 11件 / うちオープンアクセス 39件）

1. 著者名 Hara Shoichiro, Sekino Tatsuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Digital Gazetteer as a Knowledgebase for Open Data Science (2nd Report)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) in IEEE Explore	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579466	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Mamoru Shibayama, Susumu Morimoto, Akiko Tashiro, Akihiro Kameda, Taizo Yamada, Shoichiro Hara	4. 巻 -
2. 論文標題 Building an Ontology-Oriented Archaeological Knowledge-Base "ArcOnBase" in Mainland Southeast Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) in IEEE Explore	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 原正一郎, 山田太造, 石川正敏, 白井圭佑, 亀田堯宙, 森信介	4. 巻 2018
2. 論文標題 Webビッグデータからの地域研究情報抽出の試み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集	6. 最初と最後の頁 365, 372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Shinsuke Tomita, Mario Ivan Lopez, and Yasuyuki Kono	4. 巻 8
2. 論文標題 The Role of Small-Scale Farming in Familial Care: Reducing Work Risks Stemming from the Market Economy in Northeast Thailand	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Social Quality	6. 最初と最後の頁 88,109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3167/IJSQ.2018.080106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Xuan Luan Truong, Muneki Mitamura, Yasuyuki Kono, Venkatesh Raghavan, Go Yonezawa, Xuan Quang Truong, Thi Hang Do, Dieu Tien Bui and Saro Lee	4. 巻 8
2. 論文標題 Enhancing Prediction Performance of Landslide Susceptibility Model Using Hybrid Machine Learning Approach of Bagging Ensemble and Logistic Model Tree	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Applied Sciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/app8071046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasuyuki Kono, Takahiro Sato, Kazuo Watanabe, Shinsuke Tomita and Le Zhang	4. 巻 -
2. 論文標題 Reconsidering development mechanisms of tropical agriculture: Focusing on micro-development in Mainland Southeast Asia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Environmental Resources Use and Challenges in Contemporary Southeast Asia	6. 最初と最後の頁 21,39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nikolaos Iliopoulos, Hooman Farzaneh, Hideaki Ohgaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Tokyo's Low-Emission Development Strategies Underlying the Promotion of Energy Efficiency in Public and Private Buildings	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Devising a Clean Energy Strategy for Asian Cities	6. 最初と最後の頁 205,222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-13-0782-9_10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Pimnapat Bhumkittipich and Hideaki Ohgaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Development Strategy for Sustainable Solar Home System in the Akha Upland Community of Thailand	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Energies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/en11061509	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiroyuki Usui, Yasushi Asami	4. 巻 31
2. 論文標題 Size distribution of urban blocks in the Tokyo Metropolitan Region: estimation by urban block density and road width on the basis of normative plane tessellation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Geographical Information Science	6. 最初と最後の頁 120,139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13658816.2017.1384550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 樋野公宏, 三輪茉莉香, 浅見泰司, 對間昌宏	4. 巻 746
2. 論文標題 都市施設への近接性と歩数の関係: 定年退職前後の世代による違いに着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 687,693
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.687	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 蛭田有希, 浅見泰司	4. 巻 102
2. 論文標題 ヘドニック回帰分析におけるモデル選択に対する情報提供を目的とした多重共線性のリスク診断	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市住宅学	6. 最初と最後の頁 113,122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Taima, Yasushi Asami	4. 巻 -
2. 論文標題 Estimation of average place attachment level in a region of Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 GeoJournal	6. 最初と最後の頁 1,17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10708-018-9927-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 宮川大輝, 浅見泰司, 樋野公宏, 對間昌宏, 薄井宏之	4. 巻 53
2. 論文標題 東京都区部における建物更新の起こりやすさと住環境: 建物・立地・居住者等に着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1485, 1490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Salat H., Murcio R., Yano K., Arcaute E.	4. 巻 13
2. 論文標題 Uncovering inequality through multifractality of land prices: 1912 and contemporary Kyoto	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0196737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 上杉昌也・矢野桂司	4. 巻 70
2. 論文標題 ジオデモグラフィクスからみた教育水準の学校間格差の評価: 大阪市を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 253, 271
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 63
2. 論文標題 英国の地図事情	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 18, 25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司・佐藤弘隆	4. 巻 70
2. 論文標題 京町家の空き家の現状と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 9,15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuki Sekino	4. 巻 -
2. 論文標題 Representation and comparison of uncertain temporal data based on duration	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) in IEEE Explore	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579465	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹	4. 巻 2018
2. 論文標題 Linked Data におけるあいまいな時間の記述	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ じんもんこん 2018	6. 最初と最後の頁 303,308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大内 英範・後藤 真・鈴木 卓治・関野 樹	4. 巻 2018
2. 論文標題 RDF版「人名一覧」の構築 LinkedDataによる人文学のための基盤データ整備	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ じんもんこん 2018	6. 最初と最後の頁 23,28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹・原 正一郎	4. 巻 2018-CH-118
2. 論文標題 デジタル歴史地名辞書の公開とその活用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1,4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鬼塚洋輔, 大山航, 山田太造, 井上聡, 内田誠一	4. 巻 2018
2. 論文標題 花押類似検索のための畳み込みオートエンコーダによる画像特徴抽出	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ じんもんこん 2018	6. 最初と最後の頁 257,262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taizo YAMADA, Satoshi INOUE	4. 巻 -
2. 論文標題 A Common Base of Knowledge for Japanese Historical Materials and its Application	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) in IEEE Explore	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579468	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 2018-CH-118
2. 論文標題 収集史料の体系化と永続的な利用に向けた管理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1,4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渋谷綾子, 高島晶彦, 天野真志, 山田太造, 小島道裕, 尾上陽介	4. 巻 35
2. 論文標題 古文書の起源の追跡にむけた前近代の和紙の構成物分析: 研究の現状と課題, 方法の展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文化財科学会大会研究発表要旨	6. 最初と最後の頁 52, 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shoichiro Hara	4. 巻 -
2. 論文標題 Digital gazetteer as a knowledgebase for open data science	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2017 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2017.8203524	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masahiro Taima, Yasushi Asami, Kimihiro Hino	4. 巻 -
2. 論文標題 The relation between block size and building shape	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Environment and Planning B: Urban Analysis and City Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2399808317702897	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shun Kawakubo, Shuzo Murakami, Toshiharu Ikaga, Yasushi Asami	4. 巻 -
2. 論文標題 Sustainability assessment of cities: SDGs and GHG emissions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Building Research & Information	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09613218.2017.1356120	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masatomo Suzuki and Yasushi Asami	4. 巻 -
2. 論文標題 Tenant Protection, Temporal Vacancy, and Frequent Reconstruction in the Rental Housing Market	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Real Estate Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1540-6229.12205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石川徹, 浅見泰司	4. 巻 52(3)
2. 論文標題 居住環境と利便性を考慮した住宅地への用途混在に対する 居住者の評価	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1298-1303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpjij.52.1298	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金洪稷, 樋野公宏, 浅見泰司	4. 巻 52(3)
2. 論文標題 高齢者の社会参加による社会的効果: 財政・介護労働力の観点に着目して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1304-1311
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpjij.52.1304	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Usui, Yasushi, Asami	4. 巻 32
2. 論文標題 Size distribution of urban blocks in the Tokyo Metropolitan Region: estimation by urban block density and road width on the basis of normative plane tessellation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Geographical Information Science	6. 最初と最後の頁 120-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13658816.2017.1384550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 H. Ohgaki, H. Farzaneh, N.A. Rahim, H.S. Che, M.A.M. Radzi, W.S-H. Wong, L.C. Hung	4. 巻 4
2. 論文標題 Study on Quality of Life Change for Rural Community through Rural Electrification by Renewable Energy: Preliminary Result	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ASEAN Journal of Management & Innovation	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14456/ajmi.2017.16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 565
2. 論文標題 日本の古地図のポータルサイト構築に関する一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 32-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上杉昌也・樋野公宏・矢野桂司	4. 巻 13
2. 論文標題 ジオデモグラフィクスによる社会地区類型を活用した窃盗犯の発生要因に関する小地域分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 11-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司・鎌田遼	4. 巻 26
2. 論文標題 日本版Map Warperの構築と活用	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木和人・矢野桂司・中谷友樹	4. 巻 26
2. 論文標題 京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地理情報システム学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuki Sekino	4. 巻 -
2. 論文標題 Basic linked data resource for temporal information	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2017 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2017.8203525	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹	4. 巻 じんもんこん 2017
2. 論文標題 暦に関するWeb API - 暦法の変換と期間の計算	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田 太造, 畑山 周平, 小瀬 玄士, 遠藤 珠紀, 井上 聡, 久留島 典子	4. 巻 2017
2. 論文標題 前近代日本史史料における人物関係とその時空間変化: 天正期古記録『上井覚兼日記』を例に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 じんもんこん2017論文集	6. 最初と最後の頁 61-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taizo Yamada	4. 巻 2017
2. 論文標題 Detection of topics from newspaper and its analysis of temporal variations in regions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 proc. of PNC2017	6. 最初と最後の頁 44-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2017.8203520	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taizo Yamada, Satoshi Inoue	4. 巻 2017
2. 論文標題 Collecting the Name of a Historical Person from Related Historical Material	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 proc. of DH2017	6. 最初と最後の頁 807-8-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 2017-CH-115
2. 論文標題 新聞記事に対するトピックモデルの適用とトピックの時系列変化に関する考察	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 2017-CH-114
2. 論文標題 人文科学と情報学の学際領域における課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 207
2. 論文標題 日本史料にもオープン化が到来-歴史学研究波動変貌していく?-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴博207号	6. 最初と最後の頁 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kono, Y. Promkhambut, and T. A. Rambo	4. 巻 6
2. 論文標題 Introduction: Rural Northeast Thailand in Transition: Recent Changes and Their Implications for the Long-term Transformation of the Region	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Southeast Asian Studies	6. 最初と最後の頁 207-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20495/seas.6.2_207	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shoichiro Hara	4. 巻 -
2. 論文標題 Linked Open Data for Knowledgebase	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 SHOICHIRO HARA and AKIHIRO KAMEDA	4. 巻 -
2. 論文標題 Platform for Humanities Open Data	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Symposium on Grids & Clouds 2017	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhangyu He, Guofang Zhai, Yasushi Asami, Shoji Tsuchida	4. 巻 25
2. 論文標題 Migration intentions and their determinants: Comparison of college students in China and Japan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Asian and Pacific Migration Journal	6. 最初と最後の頁 62-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0117196815621203	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jianping Gu, Yasushi Asami	4. 巻 3
2. 論文標題 Vacant houses, duration for search and optimal vacancy rate in the rental housing market in Tokyo 23 Wards: Based on landlords' optimal search model	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Urban and Regional Planning Review	6. 最初と最後の頁 31-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14398/urpr.3.31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Masaya Uesugi, Yasushi Asami	4. 巻 3
2. 論文標題 A Block-level Estimation of Residential Characteristics Using Survey and Spatial Microdata	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Urban and Regional Planning Review	6. 最初と最後の頁 123-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14398/urpr.3.123	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jianping Gu, Yasushi Asami	4. 巻 28(3)
2. 論文標題 Optimal list price and duration of vacancy in the housing market in Tokyo	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Review of Urban & Regional Development Studies	6. 最初と最後の頁 182-201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/rurd.12053	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 矢野桂司・今村聡・高野明彦・阿辺川武	4. 巻 649
2. 論文標題 『平安京オーバーレイマップ』の開発と拡張に関する一考察	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 186-196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 矢野桂司	4. 巻 650
2. 論文標題 GISをベースとした国勢調査のデータ公開の現状と課題 日本と英国の比較を通して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 立命館文学	6. 最初と最後の頁 263-282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sekino, T	4. 巻 4
2. 論文標題 Time Information System Web HuTime: Comparison with Existing Web Applications	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Asian Network for GIS-based Historical Studies	6. 最初と最後の頁 62-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹	4. 巻 2016(2)
2. 論文標題 Web HuTime - 時間情報のためのWebプラットフォーム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 情報処理学会シンポジウムシリーズ	6. 最初と最後の頁 125-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関野 樹	4. 巻 2016-CH-111(8)
2. 論文標題 Web上での時間情報システムHuTimeの利用	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 情報処理学会研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 2017-CH-113
2. 論文標題 企画セッション「構築したシステムのゆくえ」の概要	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田太造, 遠藤珠紀, 荒木裕行, 井上聡, 久留島典子	4. 巻 2016
2. 論文標題 前近代日本史史料から人名を集める	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 じんもんこん2016論文集	6. 最初と最後の頁 159-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 1690
2. 論文標題 トピックモデルを用いた日本史史料テキストの分析手法	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 建築雑誌	6. 最初と最後の頁 36-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taizo YAMADA	4. 巻 -
2. 論文標題 Classification and Representation of Scenes in Field Note by Spatiotemporal Characteristics Using Linked Data	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proceedings of PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 2016-CH-111
2. 論文標題 史資料からの地理空間情報の収集と管理に関する考察	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taizo Yamada, Satoshi Inoue	4. 巻 -
2. 論文標題 A Management of Personal Name with Alternate Name and its Searching for Japanese Historical Study	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Proceedings of Digital Humanities 2016	6. 最初と最後の頁 716-717
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dao Minh Truong, Yanagisawa, M. and Kono, Y.	4. 巻 76
2. 論文標題 Forest Transition in Vietnam: A Case Study of Northern Mountain Region	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Forest Policy and Economics	6. 最初と最後の頁 72-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計98件（うち招待講演 35件 / うち国際学会 61件）

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Glocal Information Platform for Area Studies
3. 学会等名 HeKKSaGon Multidisciplinary Joint Workshop toward Fusions between Data and Mathematical Sciences (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Digital Gazetteers as a Basis for Spatiotemporal Analysis
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shoichiro Hara, Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Digital Gazetteer as a Knowledgebase for Open Data Science (2nd Report)
3. 学会等名 2018 Pacific Neighborhood Consortium (PNC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 地域研究資源の保存と共有化に関する試み
3. 学会等名 第10回デジタルアーカイブネットワークワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 学術データの共有と利活用のための工夫～地域研究を事例として～
3. 学会等名 慶應義塾大学DMC研究センター シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 Webビッグデータからの地域研究情報抽出の試み
3. 学会等名 じんもんこん2018 人文化学とコンピュータシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 京都大学東南アジア地域研究研究所の地域研究情報基盤による「地域の知」の蓄積・共有・利用の事例について
3. 学会等名 琉球大学島嶼地域科学研究所・学内セミナー「島嶼地域科学研究所・資源データベース(仮)」の構築に向けて(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H. Ohgaki, S. Kobayashi, H. Farzaneh, N.A. Rahim, H.S. Che, M.A.M. Radzi, W.S.H. Wong, L.C. Hung
2. 発表標題 Before and After Study on Renewable Energy Installation in Rural Community in Sarawak
3. 学会等名 5th JASTIP Symposium "Disaster Risk Reduction and Environmental Sustainability for Social Resilience" (国際学会)
4. 発表年 2018年



1 . 発表者名 H. Ohgaki, S. Kobayashi, H. Farzaneh, N.A. Rahim, H.S. Che, M.A.M. Radzi, W.S.H. Wong, L.C. Hung, L. Bun, Hla Toe, Wint Wint Kyaw
2 . 発表標題 Before and After Study on Renewable Energy Installation in Rural Community
3 . 学会等名 ISFT2018 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 H. Ohgaki, S. Kobayashi, H. Farzaneh, N.A. Rahim, H.S. Che, M.A.M. Radzi, W.S.H. Wong, L.C. Hung, L. Bun, Hla Toe, Wint Wint Kyaw
2 . 発表標題 Before and After Study on Renewable Energy Installation in Rural Community
3 . 学会等名 Workshop on PV Minigird System for Rural Electrification in Myanmar ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 H. Ohgaki, S. Kobayashi, H. Farzaneh, N.A. Rahim, H.S. Che, M.A.M. Radzi, W.S.H. Wong, L.C. Hung, L. Bun, O. Eth, W.W. Kyaw, H. Toe
2 . 発表標題 A Study on Impact on QOL in Rural Communities in ASEAN by Renewable Energy
3 . 学会等名 The 11th AUN/SEED-Net Regional Conference on Energy Engineering ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 H. Ohgaki, S. Kobayashi, H. Farzaneh, N.A. Rahim, H.S. Che, M.A.M. Radzi, W.S.H. Wong, L.C. Hung, L. Bun, O. Eth, W.W. Kyaw, H. Toe
2 . 発表標題 A Study on Impact on QOL in Rural Communities in ASEAN by Renewable Energy
3 . 学会等名 The 11th AUN/SEED-Net Regional Conference on Energy Engineering ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuyuki Kono
2. 発表標題 Development process of smallholders agriculture in Thailand: Perspectives from a long-term observation at a Northeastern Thai village
3. 学会等名 2nd Small Farm Precision Agriculture Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuyuki Kono
2. 発表標題 Development process of smallholders agriculture in Thailand: Perspectives from a long-term observation at a Northeastern Thai village
3. 学会等名 Farming System Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuyuki Kono
2. 発表標題 Area Studies of the Anthropocene Era
3. 学会等名 Kyoto University International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 薄井宏行, 寺木彰浩, 浅見泰司
2. 発表標題 延焼確率の確率密度関数と建物棟数密度
3. 学会等名 日本オペレーションズ・リサーチ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬場弘樹, 浅見泰司
2. 発表標題 街区レベル居住快適性評価指標を利用した土地利用シナリオ分析の提案
3. 学会等名 地理情報システム学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroki Baba, Yasushi Asami
2. 発表標題 Estimating Optimal Population of Inter-municipal Cooperation on Waste Management in Japan
3. 学会等名 International Conference on Spatial Analysis and Modeling 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hiroki Baba, Blake B. Walker, Yasushi Asami
2. 発表標題 Effect of reutilizing building demolition sites focusing on block-level livability in large housing estates of Berlin
3. 学会等名 URBAN TRANSITIONS 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬場弘樹, 浅見泰司
2. 発表標題 街区レベル居住快適性評価指標を利用した土地利用シナリオ分析の提案
3. 学会等名 第27回地理情報システム学会学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 歴史GISと新しい地理教育
3. 学会等名 日本地理学会春季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazumasa Hanaoka and Keiji Yano
2. 発表標題 Geodesign in depopulation area: Yosano Town, Japan
3. 学会等名 International Geodesign Collaboration 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 地理教育とGIS
3. 学会等名 東海地理研究会・第420回例会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 バーチャル京都から見る三条通の景観変遷
3. 学会等名 京の三条まちづくり協議会・第42回まちカフェ (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木和人・矢野桂司・武田幸司
2. 発表標題 京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析
3. 学会等名 地理情報システム学会第27回学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 今村聡・鎌田遼・矢野桂司・磯田弦・中谷友樹
2. 発表標題 日本版Map Warperを用いた旧版地形図の公開
3. 学会等名 地理情報システム学会第27回学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上杉昌也・上村要司・矢野桂司
2. 発表標題 中古不動産市場における空間的波及効果
3. 学会等名 地理情報システム学会第27回学術研究発表大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 協働によるジオデザインのフレームワーク
3. 学会等名 公開シンポジウム「グローバル時代のデータ利用と可視化」
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 オープンデータの地理空間情報を活用した社会・学校GIS教育の展開
3. 学会等名 関西G空間フォーラム2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 河野学、趙賢株、高田光雄、中西真弓、矢野桂司、伊丹絵美子、生川 慶一郎、式王美子
2. 発表標題 子育て世帯子育て世帯向け住宅において配慮すべき住宅部位別の設計内容 京都市の子育て世帯向けリノベーション住宅を例とし 子育て世帯に対する住宅政策に関する調査研究 (その2)
3. 学会等名 2018年度日本建築学会大会 (東北) 学術講演会・建築デザイン発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中西真弓、生川 慶一郎、高田光雄、伊丹絵美子、矢野桂司、趙賢株、式王美子、河野学
2. 発表標題 子育て世帯の住宅選択行動に関する研究 市営住宅応募者の応募者特性 - 子育て世帯に対する住宅政策に関する調査研究(その1)
3. 学会等名 2018年度日本建築学会大会 (東北) 学術講演会・建築デザイン発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keiji Yano, Masaru Tsuchida, Satoshi Imamura and Masanori Yamaji
2. 発表標題 WebGIS-based Application for Comparing Rakuchu rakugai-zu Folding Screens
3. 学会等名 The 1st KDD Workshop on Data Science for Digital Art History: tackling big data Challenges, Algorithms, and Systems (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司
2. 発表標題 地理情報システム(GIS)とオープンデータ 教育や自治体での活用
3. 学会等名 GIS day in 伊勢 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Keiji Yano and Ryo Kamata
2. 発表標題 Japanese Map Warper for Japanese Old Maps: an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities
3. 学会等名 2018 IGU Regional Conference Quebec (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Linked open data about calendrical periods
3. 学会等名 International Workshop on Spatio-Temporal Knowledge (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関野 樹・原 正一郎
2. 発表標題 デジタル歴史地名辞書の公開とその活用
3. 学会等名 第118回 人文科学とコンピュータ研究会発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 HuTime Tutorial
3. 学会等名 The 3rd International Workshop on the Academic Asset Preservations and Sharing in Southeast Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Representation and Comparison of Uncertain Temporal Data based on Duration
3. 学会等名 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 Linked Dataにおけるあいまいな時間の記述
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 時間情報システム HuTime
3. 学会等名 国際シンポジウム「デジタル時代における人文学の学術基盤をめぐって」(招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Taizo YAMADA, Satoshi INOUE
2. 発表標題 A Common Base of Knowledge for Japanese Historical Materials and its Application
3. 学会等名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 収集史料の体系化と永続的な利用に向けた管理
3. 学会等名 第118回人文科学とコンピュータ研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 日本史研究を進展していくためのデータプラットフォーム
3. 学会等名 第1回データ活用研究コミュニティワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 複製による日本関係史料の収集とその永続的管理
3. 学会等名 国際シンポジウム「デジタル時代における人文学の学術基盤をめぐって」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Taizo YAMADA
2. 発表標題 Data Sharing Method Related to Japanese Historical Materials by Japanese Calendar Cording
3. 学会等名 International Workshop on Spatio-Temporal Knowledge (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kameda, Akihiro; Hara, Shoichiro
2. 発表標題 Constructing Linked Knowledge around Southeast Asian Studies
3. 学会等名 Digital Humanities 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Some Experiences about Digital Humanities
3. 学会等名 International Conference on Digital Media and Charting the Geography of Power in East Asia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Information Tools for Digital Humanities
3. 学会等名 Exploring Digital Humanities Mapping Visions, Discourses, Theories (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shoichiro Hara
2. 発表標題 Community Evidences to Support Sustainable Development Goals
3. 学会等名 The 2nd International Conference of Multidisciplinary Approaches on UN Sustainable Development Goals (UNSDGs 2017) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 地域研究情報基盤の構築と人文社会科学データの利活用
3. 学会等名 第19回情報学シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shun Kawakubo, Shuzo Murakami, Toshiharu Ikaga, Yasushi Asami, Junya Yamasaki
2. 発表標題 Development of a comprehensive city assessment tool applicable to various type of cities around the world: CASBEE-City (worldwide use version)
3. 学会等名 World Sustainable Built Environment Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 H.Ohgaki
2. 発表標題 Study on Energy Usage and Quality of Life Change for Rural Community through Rural Electrification by Renewable Energy : Preliminary Result
3. 学会等名 6th INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON THE FUSION OF SCIENCE AND TECHNOLOGIES (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 H.Ohgaki
2. 発表標題 Study on Life Style Change in Rural Community by Renewable Energy Electrification: preliminary result in Sarawak, Malaysia
3. 学会等名 6th World Conference on Applied Sciences, Engineering and Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 H.Ohgaki
2. 発表標題 Study on QOL Change in Rural Community by Renewable Energy Electrification in Sarawak, Malaysia
3. 学会等名 1st International Conference on New Frontiers in Engineering, Science and Technology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Basic linked data resource for temporal information
3. 学会等名 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keiji Yano, Ryo Kamata and Benjamin Lewis
2. 発表標題 A Japanese Old Maps Online: Toward an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities
3. 学会等名 International Cartographic Congress 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keiji Yano
2. 発表標題 Virtual Kyoto Platform
3. 学会等名 Open Cultural Heritage Scholarship Workshop (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 矢野桂司・塚本章宏
2. 発表標題 日本の古地図ポータルサイト
3. 学会等名 GIS Day in 関西 2018 & 国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢野桂司・塚本章宏
2. 発表標題 カリフォルニア大学バークリー校所蔵古地図コレクションの来歴と今後の展開 渡米からデジタルアーカイブまで
3. 学会等名 2017年度国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 暦に関するWeb API - 暦法の変換と期間の計算
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん2017)
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 古文書データの次の"切り口"を探す -古文書をさらに活用していくために-
3. 学会等名 東寺百合文書データミーティング(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Taizo Yamada
2. 発表標題 Japanese History Research by Historiographical Institute the University of Tokyo and its Contribution
3. 学会等名 14th International Conference on Digital Preservation (iPRES2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山田太造, 谷昭佳, 保谷徹
2. 発表標題 東京大学史料編纂所による前近代日本史史料の調査に基づく史料画像のデジタル化とその保存
3. 学会等名 14th International Conference on Digital Preservation (iPRES2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 史料編纂所歴史情報処理システムの今と新たな日本史情報の活用
3. 学会等名 東京大学史料編纂所公開研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kono, Yasuyuki
2. 発表標題 Tropical agriculture toward the future: A Sustainable Humanosphere studies viewpoint
3. 学会等名 Bilateral Symposium "Technology the rules of Mathematics and Sciences for Sustainable Development" (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kono, Yasuyuki
2. 発表標題 Frontier of Southeast Asian Studies in Japan
3. 学会等名 International Conference on the 90th Anniversary of Southeast Asian Studies and Overseas Chinese Studies (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kono, Yasuyuki
2. 発表標題 Beyond the 20th century paradigm of development: Tropical agriculture in the 21st century
3. 学会等名 International Da'wah Conference 2017 "Da'wah in 21st Century: Bridging Diversity, Enriching Humanity" (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kono, Yasuyuki
2. 発表標題 Future Asia: Society-base Interdisciplinary Approach
3. 学会等名 PAWEES 2017 International Conference "Sustainable Water and Environmental Management" (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kono, Yasuyuki
2. 発表標題 Industrializing Agriculture in Southeast Asia
3. 学会等名 SEASIA2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 友利 涼, 森 信介
2. 発表標題 分野特有の教師なし固有表現認識
3. 学会等名 情報処理学会自然言語処理研究会 (IPSJ SIGNL-234)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 デジタル・ヒューマニティーズと地域研究
3. 学会等名 第79回京都大学丸の内セミナー (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 原正一郎
2. 発表標題 地域研究情報基盤による「地域の知」の蓄積・共有・利用の事例について
3. 学会等名 2016年度「U-PARLシンポジウム「むすび、ひらくアジア2: アジアの 共有 ・知の 共有 」」 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 H. Ohgaki
2. 発表標題 Biomass Energy in ASEAN and Possible Utilization of Biomass in the Peat Land
3. 学会等名 Joint Workshop on “Utilization of Sago Ecosystem for Peatland Restoration (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 H. Ohgaki
2. 発表標題 Introduction of International Collaboration Research on Renewable Energy, JASTIP-WP2
3. 学会等名 The 4th IET International Conference on Clean Energy and Technology (CEAT) 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Keiji Yano, Masanori Yamaji, Satoshi Imamura, Masao Kawashima, Kota Okukubo, and Tsuyoshi Nishiyama
2. 発表標題 WebGIS-based Application for Comparing Folding Screens of Rakuchurakugai-zu (Scenes in and around Kyoto) with Maps.
3. 学会等名 International Cartographic Association: Commission on Cartographic Heritage into the Digital jointly with the 20th Conference of the Map & Geoinformation Curators Group (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Keiji Yano
2. 発表標題 Virtual Kyoto: Perspectives on Historical GIS and spatial humanities
3. 学会等名 2016 International Seminar on the Making of Historical Atlas: Historical Atlas - Its concepts and methodologies, NORTHEAST ASIAN HISTORY FOUNDATION (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Keiji Yano
2. 発表標題 Virtual Kyoto based on Digital Humanities
3. 学会等名 International Geographical Congress 2016.K34: VGE as a Key Component of Geographic Knowledge Engineering (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 Web上での時間情報システムHuTimeの利用
3. 学会等名 第111回 人文科学とコンピュータ研究会発表会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sekino, Tatsuki
2. 発表標題 Linked Data of Temporal Information
3. 学会等名 PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sekino, Tatsuki
2. 発表標題 Time Information System on the Web
3. 学会等名 PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 関野 樹
2. 発表標題 Web HuTime - 時間情報のためのWebプラットフォーム
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 電子くずし字字典データベースにおける現状と展望
3. 学会等名 第2回CODHセミナーくずし字チャレンジ～機械の認識と人間の翻刻の未来～（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 資料と考古資料を利用していく環境
3. 学会等名 第113回人文科学とコンピュータ研究会発表会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 前近代日本史史料から人名を集める
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2016」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 東京大学史料編纂所における日本史史料の収集とその管理
3. 学会等名 東アジア日本研究者協議会第一回国際学術大会（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Taizo YAMADA
2. 発表標題 An example of Collection and Digitalization of Materials Related to Japanese History
3. 学会等名 Workshop on the Academic Asset Preservations and Sharing in Southeast Asia（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Taizo YAMADA
2. 発表標題 ext structure of Japanese history historical materials and effort for applying TEI in Historiographical Institute of the University of Tokyo
3. 学会等名 The 1st International Workshop on Models of Japanese Texts and TEI（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 東京大学史料編纂所における史料情報とその管理
3. 学会等名 第2回ナショナルデジタルアーカイブ研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Taizo YAMADA
2. 発表標題 Classification and Representation of Scenes in Field Note by Spatiotemporal Characteristics Using Linked Data
3. 学会等名 PNC 2016 Annual Conference and Joint Meetings ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 史資料からの地理空間情報の収集と管理に関する考察
3. 学会等名 第111回人文科学とコンピュータ研究会発表会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Taizo YAMADA
2. 発表標題 A Management of Personal Name with Alternate Name and its Searching for Japanese Historical Study
3. 学会等名 Digital Humanities 2016 ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasuyuki Kono
2. 発表標題 Introduction to Japan-ASEAN Science, Technology and Innovation Platform
3. 学会等名 Kyoto University-The Thailand Research Fund (TRF) Seminar ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 河野 泰之
2. 発表標題 「熱帯から考える未来社会 - 東南アジア研究から - 」
3. 学会等名 日立京大ラボ開所式及び記念シンポジウム-ヒトと文化の理解に基づく基礎と学理の探究
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasuyuki Kono
2. 発表標題 Japan-ASEAN Science, Technology and Innovation Platform
3. 学会等名 Kyoto-ASEAN Forum 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasuyuki Kono
2. 発表標題 Talent mobility between Japan and ASEAN: Challenges of JASTIP
3. 学会等名 ASEAN STI Forum : Shaping the Future of ASEAN Innovation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasuyuki Kono
2. 発表標題 Japan-ASEAN Science, Technology and Innovation Platform
3. 学会等名 3rd JASTIP Symposium "ASEAS-Japan STI Collaboration for SDGs" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yugo Murawaki, Shinsuke Mori
2. 発表標題 Wikification for Scriptio Continua
3. 学会等名 Language Resources and Evaluation Conference2016年5月23日 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Atsushi Ushiku, Tetsuro Sasada, Shinsuke Mori
2. 発表標題 Language Resource Addition Strategies for Raw Text Parsing
3. 学会等名 Language Resources and Evaluation Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 Yasushi Asami	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 308 (170-185)
3. 書名 The Virtual and the Real in Planning and Urban Design: Perspectives, Practices and Applications	

1. 著者名 浅見泰司	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 214 (128-137)
3. 書名 不動産政策研究総論 不動産政策概論	

1. 著者名 浅見泰司	4. 発行年 2018年
2. 出版社 プロGRESS	5. 総ページ数 176
3. 書名 コンパクトシティを考える	

1. 著者名 Yasushi Asami	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 288
3. 書名 The Virtual and the Real in Planning and Urban Design: Perspectives, Practices and Applications	

1. 著者名 矢野桂司・佐藤弘隆・河角直美	4. 発行年 2017年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 168 (118-124)
3. 書名 「市民参加型GISによる祭礼景観の復原 昭和30年以前の京都祇園祭の山鉾行事における松原通」(若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎編『参加型GISの理論と応用』)	

1. 著者名 関野樹	4. 発行年 2017年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 180 (76-97)
3. 書名 総合資料学 の挑戦	

1. 著者名 西谷大, 久留島浩, 三上喜孝, 園原謙, 後藤真, 五島敏芳, 戸田健太郎, 関野樹, 山田太造, 小倉慈司, 青山宏夫, 渋谷綾子, 齋藤努	4. 発行年 2017年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 180(98-113)
3. 書名 総合資料学 の挑戦	

1. 著者名 山家浩樹, 高橋則英, 谷昭佳, 白岩洋子, 竹内涼子, 高山さやか, 山口孝子, 三木麻里, 岡田愛, 山田太造, 井上聡, 木下聡, 宮崎幹子, 小島浩之, 新井浩文	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 262 (180-183)
3. 書名 文化財としてのガラス乾板	

1. 著者名 石塚晴通, 山田健三, 佐藤栄作, 岡墻裕剛, 横山詔一, 斎木正直, 賈智, 井上幸, 方国花, 山下真里, 萩原義雄, 守岡知彦, 須永哲矢, 堤智昭, 藤本灯, 高田智和, ガリーナ, ヴォロビヨフ・ヴィクトル, ヴォロビヨフ, 永崎研宣, 馬場基, 宮崎肇, 高田祐一, 未代誠仁, 石塚晴通, 高田智和, 池田証壽, 安岡孝一, 井上聡, 山田太造	4. 発行年 2016年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 432 (395-419)
3. 書名 漢字字体史研究 二	

1. 著者名 河野 泰之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 276 (pp.205-213)
3. 書名 地域が生まれる、資源が育てる - エリアケイパビリティーの実践 -	

1. 著者名 Mieno, F., Okamoto, M., Kono, Y. and Badenoch, N.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 CSEAS	5. 総ページ数 296
3. 書名 Proceedings of International Symposium on Exploring Academic Frontiers for a Sustainable Future	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	浅見 泰司  (Asami Yasushi)  (10192949)	東京大学・大学院工学系研究科(工学部)・教授   (12601)	
研究分担者	大垣 英明  (Ohgaki Hideaki)  (10335226)	京都大学・エネルギー理工学研究所・教授   (14301)	
研究分担者	亀田 堯宙  (Kameda Akihiro)  (10751993)	国立歴史民俗博物館・大学共同利用機関等の部局等・特任助教   (62501)	
研究分担者	岡部 寿男  (Okabe Yasuo)  (20204018)	京都大学・学術情報メディアセンター・教授   (14301)	
研究分担者	矢野 桂司  (Yano Keiji)  (30210305)	立命館大学・文学部・教授   (34315)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	関野 樹 (Sekino Tatsuki)  (70353448)	国際日本文化研究センター・総合情報発信室・教授  (64302)	
研究分担者	山田 太造 (Yamada Taizo)  (70413937)	東京大学・史料編纂所・助教  (12601)	
研究分担者	河野 泰之 (Kono Yasuyuki)  (80183804)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授  (14301)	
研究分担者	森 信介 (Mori Shinsuke)  (90456773)	京都大学・学術情報メディアセンター・教授  (14301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 International Workshop on Spatio-Temporal Knowledge	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 The 3rd International Workshop on the Academic Asset Reservations and Sharing in Southeast Asia, 2018	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 International Workshop on Data-Intensive Urban Studies: DIUS	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 iPRES2017	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 Workshop on the Academic Asset Preservations and Sharing in Southeast Asia	開催年 2016年～2016年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関

米国	ECAI, University of California, Berkeley	San Diego State University		
その他の国・地域（台湾）	中央研究院			
マレーシア	Universiti Teknologi MARA	Universiti Putra Malaysia		
タイ	Chiang Mai University	Khon Kaen University	Chulalongkorn University	他1機関
シンガポール	National University of Singapore			
United Kingdom	University of Cambridge			
米国	CJS, University of California, Berkeley			